

2班 角間・横沢

タイムライン作成のためのワークシート

警戒レベル	基準（どのタイミングで、どんな基準に従うか）	活動内容（誰が、どのようなことをするのか）	上田市からの避難情報発令	気象庁等の情報	住民等がとるべき行動等（上田市による）	活動を達成するために事前に準備すること
1	天気の様子や予報を注意する（自治会長3役）	水門を閉める		早期注意情報 （警報級の可能性）	最新情報に注意 災害への心構えを高める	給食給水班の備蓄の確認用意 要支援者援護制度の確認
2	消防団との話し合い 目視、経験にもとづき自治会長、土木委員が大雨を警戒する 長小雨量計の確認 20mm/hを超えそうな場合 真田堰（久保恒信さん宅前）の水量を確認 自治会の判断 角門川へ水を落とす （自治会長と土木委員）	→自治会長、土木委員が角間川の水門をしめる →自治会長、土木委員が確認後、自主坊、消防団（地区の団員の代表） →公民館に集合 福祉委員等に連絡し、高齢者の避難準備の備える →あふれそうな場合は水害の可能性あり、各所連絡。避難準備をする。要支援制度を使って連絡 長小に避難所の受け入れ確認		・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	一次避難所を公民館に開放する 自らの避難行動を確認 ・避難場所 1次公民館、2次長小 ・避難方法→役員による訪問車で避難	
3	近隣自治会へ道路状況確認	高齢者等は一旦公民館に避難（車） 車を使って長小へ2次避難	高齢者等避難	・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	●危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等：避難を完了させるのに時間を要する 住宅又は施設利用者の高齢者及び障害のある人等、及びその人の避難を支援する者	
4		長小より車で中央公民館 ×	避難指示	氾濫危険情報	●危険な場所から全員避難	
5		創風、日本無線へ避難（地域内工場）	緊急安全確保	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報	●命の危険 直ちに安全確保！	

課題

- ・帰宅困難な場合は、あらかじめ高齢者の確認を近所をお願いしておく
- ・避難しない人の確認と把握
- ・自主防災組織の役割の再確認